

# Well-be Desk Light

## 気分やシーンに合わせ心地よい光に調節可能。

光の色と明るさを各7段階調節可能、計49パターン設定できる。



▲調光調色イメージ(パターン例)

光の色(色温度 ※a)と明るさを各々上記7段階、計49パターンで調節することができます。気分やシーンに合わせ、任意の色と明るさを細かく設定することができます。



壁面を照らせば  
間接照明にもなる!



仕事や学習などの集中したい場面、リラックスタイムや就寝前、趣味などのくつろぎの場面など、様々なシーンや気分に合わせて細かく調節することができます。時間によって変化する外光(太陽光)に合わせて、その時々欲しい光の色と明るさにすることができるのもWell-be デスクライトならではです。

## 色や質感を重視したい方へおすすめ。

高演色性Ra96※bなので美しい色や特徴的な質感を手で正確に見たい方に最適です。



太陽光に近いRa96(※b)のため屋内外で見え方の差異なく正確な色を見られます。微妙な色の違いや繊細な質感が重要となるビジネスに。

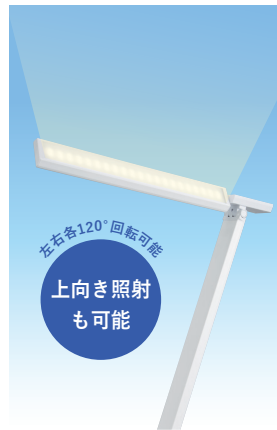


小さく細かな作業も見やすくなり目に負担をかけないストレスフリーに。

※イメージ

## リモート商談・面接、ライブ配信などに便利。

演色性Ra96※b、セードの左右各120°回転可能によりデスクライトでは珍しい上向き照射も可能。



左右各120°回転可能  
上向き照射も可能



ライブ配信に



リモート商談・面接に

※イメージ

Well-be デスクライトは、お肌がかげりに見える度合いを表す演色性がRa96(※b)と高演色性。さらにセード部が左右各120°回転できるため、デスクライトでは珍しい上向き照射が可能。リモート商談・面接、ライブ配信などで自身の顔を照らせば、印象を格段に良くしながらコミュニケーションすることができます。

## テレワークや学習用に最適。

2.7mのロングコードでテレワーク環境や子どものリビング学習環境づくりにも便利。



自宅のテレワークで仕事用環境を作りたいときに。



お子様のリビング学習に。

※イメージ



デスクライトのコードの長さは1.7m前後が一般的。Well-be デスクライトは、テレワークやABW(※c)といった昨今のワークスタイルに合わせて2.7mのロングタイプになっています。



BFL-8000 ¥15,800

### 仕様

本体素材・仕上げ

: アルミ(塗装仕上げ)・ABS樹脂

本体色: ホワイト(ピアノ調仕上げ)

電源アダプタ入力: AC100V 50/60Hz

電源アダプタ出力: DC10V 1.5A

消費電力: 14.5W(待機電力0.2W)

皮相電力: 25VA

質量: 1.2kg(電源アダプタ含む)

近接照射限度: 0.05m

調光調色機能: 各7段階 調光調色機能付き

調光調色方法: タッチパネルスイッチ

全光束(固有エネルギー消費効率)

: 1000Lm(68.9Lm/W)

照度(35cm直下・明るさ100%時)

: 3400Lx

JIS規格

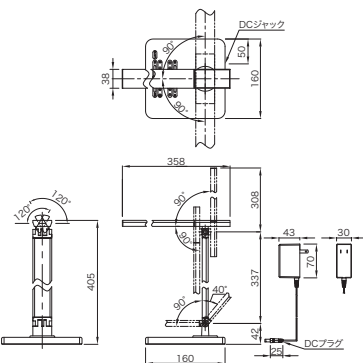
: AA形(5000K・明るさ100%時のみ) ※d

色温度: 電球色2700K~昼白色5000K

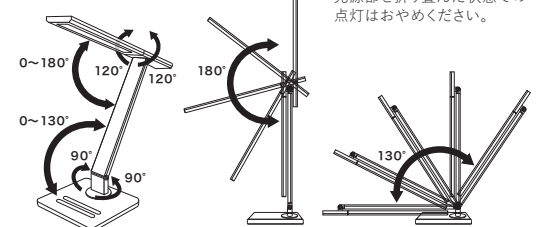
演色性: Ra96 ※b

光源寿命: 40000h ※e

コード長: 2.7m



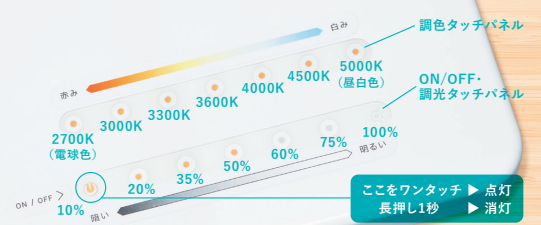
### 可動範囲



※火災・故障の原因となるため、光源部を折り畳んだ状態での点灯はおやめください。

### タッチパネル操作方法

高感度で微細な変化を感じるタッチパネルです。指で触れるだけでLEDの点灯/消灯・明るさ・色味の調節ができます。点灯はワンタッチ、消灯は1秒長押ししてください。



※a 色温度: 光色の違いを数値で表したもので、赤っぽい光色ほど数値が低く、白っぽい光色ほど数値が高い。

※b 演色性: 平均演色評価指数(Ra)のことで光による色の見え方の正確性。数値が高いほど色を正確に見られる光であることを示す。

※c ABW: Activity Based Workingの略。フリーアドレスとは異なり、オフィス以外に自宅やカフェなども働く場所の選択肢として入る働き方。

※d: その他の色温度での明るさ100%時はA形。

※e: 光源寿命は、使用環境や使用方法により異なるため、製品の寿命を保証するものではありません。照明器具本体の寿命とは異なります。

電源ON/OFF・調光調色操作は、各7段階のタッチパネルでかんたん!



オフィスに比べ住宅は暗いことが多いため、テレワークをしようとするとも明るさが足りないことがあるよね…。その明るさを補うことができるのがこのWell-be デスクライトなんです!

めいちゃん

## Column

### 光は健康と密接な関係

これまで日本では、文化や歴史的な背景から照明は明るいほど良いという概念が強い傾向にありました。昨今の研究では、光と健康の関係性が解明されてきています。毎日浴びる太陽光や照明が、生体リズムや生活習慣病の誘因リスクに影響を与え、健康で健やかな生き方に大に関わることが解ってきています。

へえ…。照明ってこんな効果があるんだ〜。

しょうくん

### 仕事・勉強のパフォーマンスが向上する光



【高照度+高い色温度(※a)】の全般照明(※f)かつ直接照明(※g)の環境下で仕事や勉強を行うと集中することができます。逆に就寝3時間前以降に高色温度の明るい光を浴びると、睡眠を促すホルモン「メラトニン」の分泌が抑制され体内リズムが崩れやすくなってしまいます。夜間の視作業は、【低照度+低い色温度】が向いています。記憶を要する勉強などは、記憶に重要な神経伝達物質グルタミン酸の分泌を促進する効果のある低色温度照明がおすすめです。

### リラックスできる光



これまで照明は、明るいほど良いという先入観を持たれてきました。最近の研究では、シーンに合わせ明るさを取って落とすことで気持ちを落ち着かせる効果があるといわれています。その際に有効なのがやわらかな光をもたらす間接照明(※h)です。【低照度+低色温度】はネガティブな気分を軽減する効果があることから、疲れている時やストレスが溜まっている時、またリビングでは低色温度の間接照明がおすすめです。

### 睡眠の質が向上する光



光は睡眠の質にも大きな影響を与えます。夕方以降は徐々に【低照度+低色温度】にすることで自然な眠りにつきやすくなります。寝室の照明は、メラトニンの分泌が抑制されにくい目線よりも低い位置に設置した方が快眠につながります。起床前の睡眠阻害を防ぐため、遮光カーテンを用いることも効果的。逆に起床後は、目線より高い位置から高色温度の光を浴びることで体内リズムをリセットすることができます。

## TIPS

“ **サーカディアンリズム照明** ” + “ **タスク・アンビエント照明** ”

実はサーカディアンリズム照明も省エネになりやすく、タスク・アンビエント照明とのダブル効果でさらに省エネが期待できるんだよ!

サーカディアンリズム照明だけだと夜、細かい文字が読みにくくてストレスになっちゃうかも…

健康へとつながる照明の使い方はこの2つの照明方式を組み合わせさせた照明がおすすめです!

ブライト博士

### サーカディアンリズム照明とは



▲サーカディアンリズム(上部)に近い光を照明(下部)で再現すると生体リズムが整う。生物は約25時間周期の生体リズムを持っていると言われてます。しかし一日は約24時間周期(サーカディアンリズムまたは概日リズム)です。生体リズムが乱れると身体に様々な悪影響を及ぼすため、その約1時間のズレを修正していくことが重要です。その鍵となるのが太陽光なのです。太陽光と同じような変化をする照明環境で過ごすことで、生体リズムが整い健やかに生活できると言われています。その太陽光に近い照明を「サーカディアンリズム照明」といいます。朝～正午までは徐々に明るく白っぽい高色温度となり、昼～夕方までは徐々に明るさが落ち、赤みのある低色温度に変化していく照明です。

ただ私たち現代人は、夕方や夜でも執務・勉強などの作業をしなければならぬ場面があるよね…。照明が足りない暗い場所での視作業は、視認性が悪く、眼精疲労や不快感などのストレスを感じるよね…。

### タスク・アンビエント照明とは

タスク(task)は作業灯、アンビエント(ambient)は空間全体を一律に明るくする全般照明を意味します。日本では天井照明で部屋の隅々まで均一に明るくする照明環境が一般的ですが、タスク・アンビエント照明は、全般照明は控えめにし、作業をする所のみを局部的に明るくする照明手法です。ヨーロッパなどで主流となっています。必要な場所のみを明るくするため省エネが期待され、昨今注目されています。



それを解決してくれるのが「タスク・アンビエント照明」という照明手法で、タスク照明となるのがWell-be デスクライトなんだよ。

※f 全般照明(ベース照明): 空間全体をほぼ均一に照らす照明。  
 ※g 直接照明: 光源から直接照らす照明。  
 ※h 間接照明: 壁や天井、床などに光を照らし反射する間接的な光で空間を照らす光源の見えない照明。